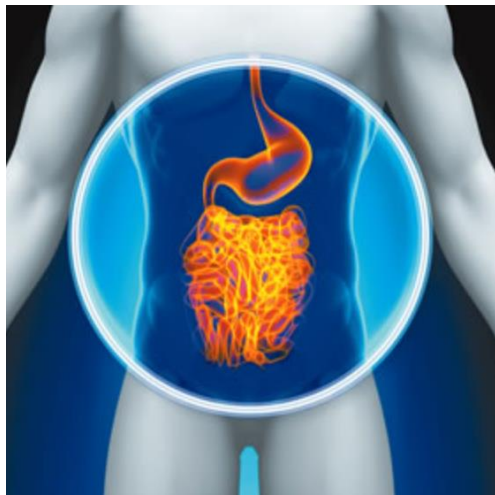


# 過敏性腸症候群患者の生活の質

下痢に苦しむ過敏性腸症候群（IBS）患者の4人に1人（25%）が「IBSのせいで生活を楽しめない」と回答、患者の37%はいつどこでIBS症状が現れるかを常に気にしており、20%は仕事に支障を来していると回答していたことが、ヨーテボリ大学（スウェーデン）の研究チームが実施したオンライン調査から明らかになり、詳細が「UEG Journal」誌に掲載されました。



世界では、成人人口の約 11% が IBS に罹患していると推計されています。IBS では腹痛を伴う下痢や便秘といった症状が現れますが、患者の約 3 分の 1 は下痢と腹痛を繰り返す下痢型の IBS に分類されます。



対象患者の 39% が消化器専門医の診察を受けたことがなく、40% 以上が大腸内視鏡検査を受けたことがないと回答しています。IBS のコントロールは、消化器内科へご相談ください。